

第5期 雄武町総合計画

後期実施計画書

様式1

No. 09010080

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 地区調査：平成24年度～平成27年度(予定) 事業着手：平成28年度～ 受益面積 3,200ha 受益戸数 53戸 事業量 区画整理 3,200ha 事業費 9,000百万円
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	国営緊急農地再編整備事業雄武丘陵地区	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	網走開発建設部	関係課	#N/A	
事業指標	地区調査、事業の推進	関係課	#N/A	
事業目標	地区調査、事業の推進	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	・地区調査 ・区画整理 1,500ha	地区調査	地区調査	地区調査	調査設計	区画整理
	事業費(千円)	0	0	0	0	0
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実績事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関連事項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	地区調査	地区調査			
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	地区調査の推進	地区調査の推進	事業の推進	事業の推進
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	国営緊急農地再編整備事業雄武丘陵地区	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	南 慎一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	国営事業受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	地区調査	
【抱える課題やニーズは】	耕作放棄地の発生、労働力の不足、農地の分散化		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	耕作放棄地の抑制、外部労働力の導入(コントラ)、農地の集約化	① 地区調査の実施	目標年度	平成26年度
			目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	外部労働力の導入や農地の集約化による、効率的で大規模な農業経営の確立を図る。	②	実績値	1式
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	国営緊急農地再編整備事業着工に向けての地区調査	国営緊急農地再編整備事業着工のための地区調査を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本町酪農業の持続的発展を進めるため、必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	網走開発建設部による地区調査が進められており、平成28年度分から着工される可能性が高くなった。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	現在は調査期間中であり、全額国費で賄われているため、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	現在は調査期間中であり、全額国費で賄われているため、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
農地の整備等による農業の持続的発展を図る事業であるため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
本町基幹産業の酪農業の持続的発展を進めるため、引き続き実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止